

いつまでも地域で暮らし続けるために

私たちは高齢になっても生き生きと暮らせる町を作り、老いの問題は地域住民みんなの問題であると位置づけることにより、地域みんなで総合的にサポートするシステムを作ります。



【ばぶちゃんちはどんな場所?】

こじんまりとして家庭的な雰囲気のあるグループホーム（認知症対応型共同生活介護）です。9名の方がいっしょに生活をする場所です。グループホームでの生活は、特別なものではなく、ごく普通の生活で、ご飯を作ったり、掃除したり、買い物したり、昼寝や散歩、風呂におしゃべり、まったりとした時間を過ごしたり・・・。

【ばぶちゃんちの由来】

元理事の故阿部千寿子さんが住んでいた場所に開設されました。お孫さんが阿部さんのことを「ばぶちゃん」と呼んでいたことから名づけられました。つまり「ばぶちゃんち」は「おばあちゃんの家」のことです。

ばぶちゃんちでは のんびり・ゆったり・マイペース

それを支える3つの要素

- 家庭的な環境
- 適度な一日の生活リズム
- 専門スタッフ

★顔見知りの関係や部屋の広さ、自由な雰囲気などが安心できる環境を醸し出しています。

★その時々ではじまるお話や散歩、ちょっとしたゲームや工芸など、自然にうまれるご利用者の方同士の関わり合いを大切にしています。

認知症の方に対するケアにとって、もっとも重要なことは、のんびり・ゆったり・マイペースです。

ばぶちゃんちのスタッフは、日々、ケアの実践と向上を目指しています。

【ばぶちゃんち7周年を迎えて】



【ばぶちゃんちのあゆみ】

1994年	2月	講演会「田無でもグループホームは可能か」 講師：山井和則さん 主催「バウムクーヘン」
	3月	「サポートハウス年輪」設立 グループホームの発信基地と位置付ける
1995年	8月	朝市でグループホーム開設の資金づくり
	10月	グループホーム開設のバザーが取材される
1996年	7月	グループホーム設立準備委員会設置
1998年	1月	拠点確保のチャリティ即売会が取材される
2001年	10月	ナ付ホーム事業開始
2002年	1月	グループホーム開設準備室設置
	10月	開設に向け講演会・シンポジウム・バザー開催
2003年	1月	グループホーム「ねんりんはうす」開設
2004年	3月	「さりげないサポート」実態調査報告書発行
	10月	第三者評価を受ける
2005年	4月	認知症介護実践者研修の実習受け入れ 先となる
2009年	2月	グループホーム「ばぶちゃんち」開設

【お散歩】

